



Written by Megumi Tateishi

# English Report

## コミュニケーションの土台「間違える力」を育てる

3学期のまとめの時期に入りました。授業では子どもたちが自分を知つてもらうためにひとりでスピーチをしたり、ペアになって英語でやり取りをする機会が増えています。そこで私が一番嬉しく感じるのは、流暢に英語が言えた時よりも、子どもたちが「間違えることを恐れずに」声を出した瞬間です。

自分が「言いたい！」と思う言葉を、最初は短く、知つてゐる言葉を使って話し続けてきました。次第に少しずつ詳しく話せるようになります。その言葉を聞いた友達が話している内容を理解し、リアクションで反応することができるようになります。さらに詳しく話して会話が続くようになります。6年生はここにきて、魂を込めて一生懸命話をしています。生き生きと素晴らしい表情です。

これからグローバル社会で求められるのは、完璧な文法で話すAIのような英語力ではなく、「相手と分かり合おうとする人間らしいコミュニケーション力」です。授業中、言葉に詰つた友達に助け舟を出したり、聞き取れなかつた時に“*One more, please!*”と聞き返したりする姿が見られます。これこそが、生きたコミュニケーションの力です。



学年が進むと、少しずつ学習内容もレベルアップします。もし、お家で英語の話題が出たときは、「正しく言えたか」ではなく、「大きな声で言えたか」「相手の目を見て言えたか」という点をたくさん褒めてあげてください。「間違えても大丈夫なんだ」という安心感こそが、来年度の英語学習への一番のパスポートになります。失敗を恐れない「チャレンジャー」の心を大切に、残りの時間を過ごしてほしいと願っています。

会話を通して子どもたちは「英語特有のリズム」や「音のルール」を体全体で吸収してきました。例えば“*Orange*”という単語を見たとき、頭の中でネイティブに近い発音が響くようになっています。この「音の蓄積」があるからこそ、高学年や中学校で本格的な文法学習が始まったときに、スムーズに理解が進むのです。「正しい音」を知らずに文字の積み上げは進みません。

今は見えにくい「根っこ」を育てている時期です。この根っこは、次の学年でさらに太く、丈夫になっていきます。子どもたちが自信を持って英語の世界を冒険できるよう、全力でサポートしていきます。



## 1年生の授業

### 友達にインタビュー！“What do you like？”

聞いたことがある食べ物の名前を英語らしい音で伝え合うことが出来ました！



たくさんの人にお話が聞けましたね。



I found out what your favorite fruit is!

Everyone was so happy!

Next time, let's enjoy speaking more!

もっと  
話したい！



I like salad, and you?

重なったお友達がいたよ。

先生の話していることが類推できるようになり、聞きためた言葉が自然に自分の発したい言葉と結びつきました。自分のことを知つてもらうために自信をもつてお話がきました。友達のことを知ることができたこどもたちはにっこり。言葉も思いも伝わって、よいインタビュー活動になりました。



I like noodles.

こんなにうます！

It is black  
and white.  
It likes bamboo.  
It lives in China.  
What's this?



Live in Chinaだから…



It's panda!

## SMILE TALK



Nice!!!

Dragonfruits

Only English でこどもたちは  
15分間話しています！

What's the name of fruit?

Say it again!



You can enjoy talking in English!

